



研修医日記

作成者：阿部 純弓（1年次）

はやくも研修医日記の担当が回ってきました。2019年もあっという間に終わろうとしています。むつ市に引越し、研修医生活をスタートさせるなど、私にとっては激動の一年でした。

さて、今回は1年次研修医の遠足について書き連ねていきたいと思います。むつ総合病院の初期研修の一環として、下北地域院外研修、通称「遠足」というものがあります。遠足では、下北地区内を巡り下北についての理解を深めます。今回、私達1年次研修医は東通村、大間町、下風呂を訪れました。

11月16日に開催されましたが、残念ながら強風かつ吹雪という大荒れの天気でした。それでも皆で楽しいひと時を過ごしてきました。中でも印象に残っているのは大間での陶芸体験です。2時間ほど粘土と向き合い、各々思い思いの作品を作りました。それぞれの個性が光る、素敵な作品が揃いました。そろそろ焼き終わった完成品が届く頃なので、仕上がりが楽しみです。

最後になりましたが、今回の遠足を通して下北の広さを改めて実感しました。道も必ずしも真っ直ぐではなく、起伏やカーブなどもあり、冬場は特に大変であろうと思いました。病院に通院することが決して楽ではないということを胸に刻んで、日々の診療にも活かしていきたいと思います。

計画・引率してくださった事務の方々、日当直をしてくださった先生方、ありがとうございました。



↑陶芸体験中の様子

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。